



夢のV飛行でジャンプ・複合ともに優勝! 全中スキーで県勢初の2冠を達成

小林 陵侑さん (松尾中学校3年)

2012年2月1日～4日まで北海道名寄市を会場に開かれた第49回全国中学校スキー大会で、ジャンプと複合で頂点に立ちました。2冠の達成は県勢では初、大会史上でも2人目という快挙です。スーパーキッズ第1期生である小林君は大舞台で経験を積み、大きなはばたきが期待されます。



風にうまく乗って大ジャンプ!

ジャンプが行われたのは2月2日、自分は目標を複合にいていたので、正直勝てるとは思っていませんでした。8位以内に入賞すればいいかなと。名寄市のピヤシリシャンツェは風のない台だと思っていたし、練習でもあまり飛んでいるほうではなかったんです。

1回目は71メートルで3位、2回目はそれまで左から吹いていた風が正面に変わり、すごくいい風が下から吹き上げていて踏み切りもうまくいきました。「うまく風をもらえた」という感じで、自分でも初めての74メートルの大ジャンプができました。でも、1回目の上位2人がまだ残っているので、結果はまだわからない。最後に誰も僕を抜くことができなかつたとき、思わず周りの人たちと握手していました。みんなに「おめでとう」と言われてうれしかったけれども、僕は明日の複合もこの調子で飛べたらいいなという気持ちでいっぱいでした。

次の日もピヤシリシャンツェは無風。複合は51人が出場しましたが、去年3位に入っていた競技なので、最初から優勝を狙っていました。3年生になってからは1日も休まず朝練を続けたし、放課後も辛い陸上やローラーの練習を積み重ね、厳しい合宿や遠征にも参加してきました。今年こそは優勝をと、頑張ってきたんです。

前半のジャンプでは69メートルを飛び、124.1点でトップになれた。自分でも内容は良かったと思

います。後半の距離は次の選手に42秒差をつけてスタートしました。1周目でリードを大きくつめられて焦ったけれど、力を残していたのでいけると思った。実は、1周目は8割に抑え、みんなが疲れる2周目で力を出すという作戦だったんです。長い上りのあとは急な下りと、休める場所もなかったけど計算どおりって20秒8の差で逃げ切った。ゴールの瞬間は思わず万歳して天を仰いでいました。

優勝の報告は、ずっとつきっきりで指導してくれた永井陽一先生に「ありがとうございます」と一番に伝えました。2冠達成とみんなが喜んでくれるけど、自分としてはあまり実感がなくて、とにかく2つ勝てたことがうれしいです。



全国中学校スキー大会のジャンプで優勝し、仲間やコーチ陣から祝福される小林陵侑選手(中央)＝北海道名寄市ピヤシリシャンツェ(右手日報2012年2月3日付)

スキー一家に育って

スキーはいつも身近なところにありました。お父さんはスキーの指導者だし、兄の潤志郎はジャンプと複合の選手として世界で戦っている。姉の諭果

も県内でたった1人の高校生ジャンパーとして頑張っています。

僕がスキーを始めたのは保育園のときです。初めは遊びでしたが、そのうち兄と姉の影響を受けてクロスカントリーを始め、ジャンプは兄が楽しそうに飛んでいるのを見て「僕も飛んでみたい」と思いました。

本格的に取り組み始めたのは小学校5年生の頃からで、両親に連れられて土日は必ず花輪のジャンプ台や田山のジャンプ台に行くようになりました。スキー以外にも夏は野球少年団に入っていたし、中学校ではスキー部が特設なのでサッカー部に入っています。野球もサッカーも好きだけど、僕の中ではスキーの比重が最も大きい。いつも「より、遠くに飛びたい」という目標があるから、スキーが楽しいんです。

全中で2冠を取ったとき、兄は海外でワールドカップ参戦中でした。その後、帰ってきてから顔を合わせたけれども何も言ってくれなかった。姉ともスキーについて真剣に話したりはしません。僕はまだ相手にしてもらえないかもしれない。でも、兄は一番身近な目標で、ジャンプの技術も盗める存在。いつかは追い抜けたらいいなと思っています。

高校のスキー界でさらに飛躍したい

僕はスーパーキッズ第1期生で、小学校5年生から入っています。スポーツ栄養の講義などはとても勉強になったし、いろんなスポーツの仲間と出会えたことが良かったと思います。みんなどんな練習をしているか情報交換をしたり、仲間が1位をとったりするとすごいなと思うし、自分も負けたくないという励みになります。

今年の1月にはスーパーキッズの一員としてオーストリアで開かれた冬季ユース5輪を見に行きました。ジャンプで女子が2位、男子が3位、複合は3位と日本選手が活躍していました。海外に行くと、世界の舞台は大きいんだと感じられる。僕もいつかはと、あこがれます。

スキーの面白いところは、夏に一生懸命練習して、その結果が冬に出ること。ジャンプは怖いこともあるけど、うまく風に乗れ、距離を伸ばせたら気持ちがいい。そこが一番の魅力です。

春からは高校生になります。もっと体力をつけて高校のスキー界でもクロカンで上位に入ることが目標です。ジャンプはこれから大きな台を飛ぶことになるので、恐れず楽しく挑戦していきたい。インターハイ、国体、そして世界ジュニア選手権と、どんどん飛躍していけたらいいなと思います。

